京城新聞

京城新聞

●對清貿易談

門野重九郎

▲諸列國の態度

一寸話の筋は違ふが今度廻りたる上海、漢口、天津は皆不景氣で支那商人が契約品を引取らぬ爲め、日、英、獨等の各國商人は中々打撃を受け、各外國銀行は極力警戒しつゝ融通をして外商を助けて居るが、[illegible]で、在留邦人を始め外國銀行及外商等の數多に會見せし其樣子より推察するに何所にも外國商人は[illegible]資本固定の爲め、銀行の助力を受けて居るも、其苦痛の度は他の外商に比して甚だ輕く、概して彼英商は泰然として一陽來復を待て居る、反之獨[illegible]商等は英商[illegible]違ひ、[illegible]獨商等が樹を見ることが出來ないか、性急なる爲めか、三四年前の好景氣に浮かれて遣り過ぎたるか、英商の如く資本充分ならざる爲めか英商の如く世界的商業の經驗を有せざるによるか國民の性質の異なる爲めか、此等の點は面白き研究問題であるか、さすがは英人なり、三四年前の好景氣に浮かれず、其時の彼等の利得は或は日、獨商等の如くならざりしやも知れず、併し彼等は打續きたる商天にも、今日の風雲が來るべきを忘れず[illegible]して來りたるならず、十年以前より世界の商權は英を去りて獨逸に遷るとか、英國は國勢が下り坂だ、未路が近いとか稱し、英人自身が悲觀し警戒し居りたるも、今日より之を見れば南亞戰爭に二十五億圓の出費の爲め、一時財政の順調ならざりし現象にして、英國が過去百年間に築きたる土臺（金力と經驗）は決して一朝に頽潰するものにあらず、現に一昨年末以來の世界的不景氣に米國よりも獨逸よりも容易に之に堪へ居り、少なくも東洋に於ては、英國は十年前の堅固なる狀態を回復したるものと云ふべく、獨逸にとりては大打撃にて、其回復には數年を要するならむ、古河に水絶わず、一時の降雨に出水する小川に比す可きにあらず、英國の金力が英人を優れるが如く見せることあるも、英人の氣風は大に我々の手本となす可きものである、又支那商人は中々勘定高い概して云へば我々日本商人は叶はぬ、我々も日本で或意味に於ては、一層發達して居る大阪流の商法で、支那に向はねばならぬ學校學問や大言壯語のみ武器とせる、書生流では、對抗は六ヶ敷き樣に見ねる、英國人の堅固なる氣風と、支那人の數字に精密なる點は、共に我々の習ふべきことであると思ふ

▲對清貿易の前途

扨て支那の今日の不景氣が何時回復するか之れは議論分らぬが、歐米の金融も落付き來り、全世界の商業人氣が持ち直りかけら[illegible]支那の今秋の作は[illegible]先づ幸に平作以上である、北清の方は未だ甚だしく沈靜せるも、南清の方は少し荷動きの芽が見ね、是迄の有品が不景氣ながらも捌けて行く爲めに品不足を生じたことゝ他に幾分か商賣も出來始めたことゝ思はれる、併し眞の景氣は世界の景氣が直らねばならぬ、夫れで世界の景氣も先づ來年夏頃には上り坂になるであらうと、漠然ながら云ふ人がある、夫れ迄は先づ見込がないと申さねばならぬ、我日本の商人も過去十餘年間に支那各地に中々多數入り込み、少數[illegible]を造りつゝあ[illegible]りたる此際に不景氣に會し、餘程窮境に陥りたる模樣に見ね、閉店して引上げるものもある、或は此打撃の爲め五六年前の有樣に[illegible]退步するかも知れぬ、[illegible]氣になれば從前よりは一層の勢で回復進步するに至るならん、否挽回すべき彈力と意氣込がなければならぬ日本の大商社は唯少しく手控をして時機を待つのみで、有望なる支那市場を見捨てることはないと信ずる此支那なる大未來を有する市場は、我日本には最も大切なるもので、此一時の打撃に手を控へるは致方なきも、決して見捨てゝはならぬ、大發展をなす可き大覺悟が必要である、加奈陀のプレストン氏がナショナルレビウー誌上に、如斯的に日本の支那市場に對する大未來を豫言して居るが、同氏の云ふ迄に行かずとも、現に角我々は出來得べき丈け働かねばならぬ、今日は商工業の競爭である、國富を増すことが何より先きに立つ

終りに、支那各地の我總領事等は、余の知るところでは皆大に熱心に邦人の保護に當り、諸種の便宜を與へて居る、余に對しての好意を愛に謝すると共に、此事を世間に吹聽して置く（完）

●趙農相の訓示演說

第一回韓國農業技術官會議に於ける趙農相の訓示演說の要領は左の如し、

農業の沿革は高麗朝以前は茲に述べざるも五百年以來を顧みるに國民人倫道德文學を以て本となし農業は其の重きを知ると雖も此れが改良に注意せず只勸農の言あるも其の實行無し故に年を逐ふて漸衰するに至り三百年以來は性理文學を以て主となし勸農の言亦聞くを得じ衣食及び生利の業を口にするものあれば人皆此れを賤むに至れり丙寅の年江華騷擾以來は殆んど寧靜の日無く農業益々殘衰し人民皆に安んずる能はず以て現今の貧弱を來せり今や維新の時に當り殖產興業の途を研究せざる可らず此即農商工や我國は氣候土地共に良好なれば[illegible]人民前日の氣風を一變し[illegible]工商固て[illegible]に我國の農業は其の天然に任じて勤務を務めず[illegible]自然を計ふれば一個年内の僅日數に過ぎず農民をして勤勞の習慣を作らしむるは農業改良の根本なり殊に我國の農家は副業を勸むる事少なく養蠶業の如きは殊に我國の氣候に適當せるを見る宜く國民をして本業の改良發達を圖らしむると共に諸種の副業を創始して指導獎勵せしめざる可らず云々

（七十九）

[illegible]野を召連れ、菊觀と云ふを名にして大山の宅へ往ったのである、待設けたる大山豐春は、直樣奥まりたる一室に案内した。

この大山の家は赤坂氷川町の極めて眺望に富んだ場所で、母は早く世を去って、五十八になる父親と二人暮で、姉も妹もないのでは無いが、夙に他家へ嫁して小見さへあるのである、召使は下婢が二人に車夫が一人、總体五人である。

けれども父は宮内省の官吏で、日々出勤する自分は御室家へ勤める、日曜の外は何時も召使が宅を守ると云ふ有樣で、[illegible]が結婚を急ぐのも一つは宅の都合からである。

此日も父は出勤の留守中で、自分は屋敷の方を[illegible]暇を願って、君子の來る準備などしたのであった。座敷室内は埃一つ見ねまでに叢められて、床の置物から、置物にまで心を用ひ、花瓶には黄白の菊が床しい香を放って居る、座敷には萌立つやうな花毛氈を敷き詰め郡内の座蒲團が二つ、縁の障子を左右に開いて、廣い庭園が一眸の中に望まるゝやう、誠に楕々とした屋敷の構である、父親が高等官であるから、相當の收入もあるであらうが左に右御室家の家扶たる大山の邸宅としてはあまりに華美に過ぐるほどである。大山は恭しく手を支へ、

「能くこそ御出で下されまして、有難う存じまする、實はお目に留りますやうな、美事な菊は無いのでございますが、しかし父も至って好でございまする私もお屋敷へ上るやうになりましてから、御前樣にかぶれまして、見やう見眞似に毎年培養致しま[illegible]此の二年[illegible]は見事な花園にはいづれ後刻お選を願ひなするが、どうぞ此の鉢植を御覽なすって下さいまし。」

と、ツイ眼の前の庭に、所狹きまで鉢に植てある菊花を指して、云った。

「本當に見事に咲いて居ますることね、お屋敷のが随分美しいと思ふて拜見して居りましたが、お宅のは一層美事でございます、これだけの花を咲しますまでには、随分な丹精でございませうね。」

「然うお褒め預りましては、誠に汗顔の次第で[illegible]ますが、[illegible]これまでに致しますには随分手數がかゝりましてございます。」

かゝる談話の中へ、女中が菓子や茶などを運んだ。

「どうぞ、粗茶でございまするが召上りなすって下さいまし。」

君子が茶を喫すると、菊野も喫する。

大山は菊野に對ひて

「菊野さんの宅も、お父樣が随分御丹精なさいますから、本年も相變らず美事な花が咲きましたでございませう。」

と、問ひかくれば。

「如何でございますか、もう暫時宅へ下りませんゆゑ少しも存じないのでございます設へ培養ましたに致しましても、どうせ此方のやうな美事なものぢやございません。」

「では、菊野さんのお宅でもお培養になりますのですか。」

君子が云へば、大山は

「なかなか、私の宅のやうなものぢやございません、立派な物が深山にございます。」

「おや、然うでございますか、何方の宅も大流行でございますことね。」

韓京覺帳

[illegible]浪生

本覺帳は元[illegible]生の個[illegible]日記に過ぎざれども目下新聞記事捌底の拵納ことを紙上に載せて讀者諸君に示すは本紙置闕の責を塞ふせんが爲に外ならず候、仰ぎ願はくば讀者諸君に於ても宏量以て一讀の榮を給はらんことを。

●世に蒔かぬ種は生へぬと申す諺有之候、實に而りにて蕎麥かすし乳米麥野菜が生へるものとせば百姓[illegible]懷手にて長者と相成可申候、併しきう言ふ[illegible]今の韓國内閣[illegible]上にまるべき[illegible]もなく[illegible]し有りとすれば夫は權兵衛が知らぬ間に烏が蒔き捨たるものに候。

●李完用内閣は昨春突如として生れ出申候へ[illegible]候、讓位は[illegible]被致候解兵は斷行被致候世は混雜に混雜を重ねたる後兎にも角にも伊藤統監の世と相成申候。

●廣東は釜山を發して南大門に着すれば役目を果したるものに候、李内閣も昨年以來の走行にて今は既に終驛に到着せんと致居候最終驛に着すれば御役目既に夫迄に候、ソレカラ李内閣更迭の噂は昨今切りに傳はり申候。

●早晩更迭するは李内閣の運命なるべく候李完用や宋秉畯を退き夢より醒めて寒氣身に泌むを感くに至り可申候、併し韓人共一昨年の儀ならば今頃は[illegible]位が落に候假令二年足らずとは云へ韓人不相應の榮華を齎し來たる今日なれば此上とは餘りに慾なり、不平言識すに樣生するが當然ならんと存候。

●余が李内閣役落前に於て伊藤公に向つて知らせ置度は公の知らざる李内閣成立の由來及び第二協約成立の由來に候、蒔かぬ種の生ゆるを信ずるは公の無邪氣にして且つ愛らしき所なりと雖も夫にては余に於て餘りに公を芝居の殿樣扱に致す嫌あるを以て次號よりは一昨年に遡つて余の覺帳を披き公の無邪氣に對して余の精器を語り懺悔消の擧に出で可申候

●尤も覺帳中の誤りたる點は公に於て之を訂し足らざるは補ひ相成べくは發行停止の恩命を下さずして完稿せしむる樣御見逃がし被下度候。

東京電報

▲徐世昌の獻品

奉天總督徐世昌は後藤遞相に托して我天皇陛下に獻上の淸國古代陶器花瓶一對今日献納せり

▲豫算内示期

明年度豫算は九日に内示する事に決定せり(九日發)

雜報

●統監帶同謁見

伊藤統監は十日午前十一時[illegible]仁川に回航したる練習艦隊司令官伊地知[illegible]參謀中佐坂本則俊同[illegible]村[illegible]助同艦長大佐石井義太郎機關長中佐松[illegible]軍醫長中[illegible]松本[illegible]水雷長[illegible]鈴木寛之助主計長少監安田直七の十三氏を帶同參内韓皇陛下に謁見せらる

●練習艦隊仁川着

伊地知司令官の座乘せる練習艦隊阿蘇宗谷の二艦は九日午後三時仁川に入港せり十日十一日は碇泊し十二日拔錨大連、旅順、芝罘與港を經て佐世保に歸航すと云ふ

●豫算と大臣會議

昨日の[illegible]部に於ける[illegible]度支部當井次官は明年度豫算に關する大體の報告をなしたるが本日[illegible]に於て各部豫算の査定會を開き次回の參與官大臣會議の問題として提出せらるゝ豫定なるも何分各部の要求多額にして歲入との均衡を得る事難く當局者は頭を腦まし居るものゝ如し

●植民奬勵

我外務省は[illegible]局内に植民專門の一課を設くることとなりしが昨今移民保護法の改正より從來の移民政策を廢し植民政策を取らんとするの計畫を立て今後は此方針により移民は漸次に減少せしむると同時に植民を奬勵し日本人にして他邦に拒絶さるゝ如き現象の消滅を期する筈なりと

●社寺に關する規定

社寺の財産管理其の他に關する規定を制定するため當局に於て目下調査中の由なるが此の規定は公共の性質を有する社寺の財産を官吏又は僧侶が勝手に處分する事を防ぐの目的に出づと云ふ

●漢口財界の恐慌

漢口なる支那三大銀行の破産に次ぎて十餘軒の銀行は共倒れとなりて約九百萬兩の缺損を生じ銀行紙幣、商用手形は全く信用を失び同地商業界は大恐慌を來し[illegible]

桑港電報

▲ス氏殺害韓人の裁判

本年三月スチーブンスを暗殺せる韓人鄭及び沈の審問開始せらる、兩人がスチーブンスを殺害したるは當時韓國人民が同人を以て日本政府の爲めに雇はれたる賣國奴なりと思惟せるに基因せるものにして今回同志韓人會は[illegible]

當局者は銅貨鑄造[illegible]停止を命じたり又今年は韓北一帶米[illegible]收穫[illegible]の爲め米價低落しつゝあるが細民救助の[illegible]として防穀令を施行したり

●農商工部の移轉

農商工部は明年度に於て元衛戍病院跡に廳舍を新築し之に移り現廳舍は大東俱樂部より買收して商品陳列館となす計畫ありと云ふ

●撫順炭坑の狀況

野戰鐵道[illegible]明治四十[illegible]年三月末撫順炭坑の從業員は[illegible]名及支那人若干に過ぎざりしが四十一年十月末の調査に依れば炭坑長職工小使等日本人一千十九名及支那人四百四十三名[illegible]支那人を算する[illegible]の盛況を呈せりといふ

●地方費と公吏

地方費規則は目下内部度支部の間に於て審議中なるが右規則實施の上は同費徵收に關する事務及び同費を支出して經營する地方公共事業に當る[illegible]公吏を任用する筈なるが地方自治体をなさゞる韓國に於て茲に公吏と謂ふ[illegible]官吏として待遇するは勿論なり

●民籍法の發布

内部警務局に於て起草したる民籍法は昨日の參與官會議に[illegible]大体を議了したるを以て不日發布の筈

●農蠶技術官會議(第三日)

八日は午後五時散會[illegible]は午前十時より開會し中村農務局長席に就き前日に引繼きて既報諸問題項第五より逐次審議し午後五時散會後一同清華亭に於ける趙大臣の晩餐會に赴けり尚昨日[illegible]の外[illegible]會議に提出せられたる問題左の如し

一、巡回農業展覽會開設の件

二、各部に試作人設置の件

以上戸來技師提出

一、各道に二人宛の農業技術官を置く事

二、各道に農事講習所を一ヶ所以上設置すること

以上中[illegible]技手提出

一、當國蠶業の改善を謀るに當り女子の力に依つべきもの甚だ多し然るに當國の慣習上女子は容易に薰陶し難きものゝ如し此れが教育或は利用に當り如何なる方法を以て指導すべきや

二、桑樹新植者に對し專用仕立と兼用仕立の何れを主として獎勵すべきか且つ從來の桑樹に對し栽培上の良法あらば何れの方法に依る可きか

以上齋藤技手提出

一、短期蠶業巡回教師設置の件

二、小賀野指定教師[illegible]規定を設け[illegible]租を免除すること

三、簡易高等學校設立獎勵法を設くると普通學校に技藝科として農蠶業の實習科を設け[illegible]兼任教師を置く事

四、[illegible]に於ける繭及び生糸の輸出税及日本に於ける本邦生糸の輸入税廢止方を農商工部より其の筋へ交渉せらるゝ事を望む件

以上牧野技手提出

●大豆粕歐州輸出

大豆粕は直接に肥料として使用する外に牛馬豚の如き家畜の食料ともなるのみならず家畜に大豆粕を食せしむる時は其の糞は大豆粕同樣肥料として有効なるのみならず[illegible]分の不足なる丈け大豆粕に比し一層有効なる肥料となる由にて又之を經濟上より觀察するも同一箇の大豆粕を以て家畜飼養料と肥料との二樣に使用せらるゝ譯なるを以て此の方法は我が國に於ても昨今漸く盛ならんとする形勢に立向ひたるが歐洲諸國に於ても亦大豆粕を以て家畜の食料に用ゆるの[illegible]至りたるを以て三井物産に於ては昨今の大豆粕下落時代に同品の歐洲大輸出をなさん計畫あり世上傳ふる所によれば既に二[illegible]だ此の邊迄進步し居らざるが如く何分途中印度洋を航行するを以て其の間に於て品質に變化を來す事なきやは最も研究に値するものから試驗的に若干の輸出を試みたるは賢なり而して同品にして無事歐洲に着し好評を博すことに於ては家畜國の歐洲[illegible]其の需要殆ど無限なるべく同品の前途頗る有望なるに至るべしと

●滿鐵の復線工事

軍政時代に於ける政府の命令條項に基づき會社創業の當時より着手し居れる連蘇家屯間の復線工事は既に其七分通り落成したる趣なるが猶ほ引續き工事を進捗中なれば遠くも來年の夏期には全部完成し運轉を開始し得るに至るべしといふ

●平壤の下水工事

平壤[illegible]日本人民團及び韓民の協同事業にて約四十萬圓五ヶ年繼續の豫算を以て同地の下水道工事を經營するため國庫より約二十萬圓の補助を請願し目下當局に於て詮議中なり

●大邱實業傳習所

は西門外にある熊本縣人機織製糸業古莊幹實氏と韓人李敬善との共同經營にかゝり專ら織物の傳習を目的とし目下生徒二十名を養成す所長古莊氏教師古莊まよ子(古莊氏の女)李聖善の二名外に助手(日本婦人)一名あり生徒は二十歲前後の男子にて女子の希望者亦多少あるも韓國習慣上男女同席を許さず別室の設備を要するにより未だ女子收容の運びに至らず織物の種類は綿紬、羽二重、綿物、糸織、銘仙等總て絹物にて織賃安く綿紬は一反十二三圓より上等十五圓位、銘仙は八九圓より上等十圓位羽二重[illegible]十三圓より[illegible]五圓位[illegible]

きの器用は日本人に及ばざる仕事は遲い方なり目下傳習所は韓屋を使用し機器入畫を據付け居るが傳習希望者多きを以て將來益々擴張して[illegible]設備を施すべしと云ふ

●漁業團の組織

鎭海灣を根據とせる鰮網漁業者九十六名は今回發布の日韓漁業法發布に基づき漁業出願手續等利益を協同的保護する計畫にて新たに團体を組織すべく計畫中の由なるが他の日本人通業者と雖も此例に傚ひ新團体組織の必要なるべしと云ふ

●草莉場の紛爭

本月三日京義鐵道始[illegible]

●韓人警部の赴任

既報警察官練習所にて教習濟の韓人警部黃鐵性外十名は慶尙北道安東警察署其の他へ昨日夫れ〳〵勤務を命せられ五日以内に赴任する事となれり

●管理局と仁川市民

統監府鐵道管理局に對する仁川市民の有志者は一昨日午後二時より仁川俱樂部に於いて其の委員會を開きたるが委員加來、頴原、稻田、田中、桑野の五氏出席の上種々協議を重ねたる結果伊藤統監に上申するに先きて部長と面し意志の融和を圖ることに決して一先づ散會し本日同部長に向け其旨紹介する所ありたるが同部長は快諾し本日午後二時仁川俱樂部にて面談する筈なり

●學部廳舍の落成

新築中なりし學部廳舍は愈々落成し目下室内の裝飾中にして本年二十日頃には移轉の筈なり

●奉天の近狀

▲農業學校と米國領事 目下歸朝中なる米國總領事ストレート氏は米國總領事館開設以來鋭意熱心滿洲に於ける自國の通商貿易發展を企謀し其の手腕頗る見るべきものありしが既報の如く同國勸業道が新民府と法庫門の堺界に高等農業學校を設置するに決定したるは米國領事館の勸誘に基けるものにして教師として既に二名の米國人來奉中なり▲圖書館及語學校の不振 故加藤總領事當地在任中居留民の精神修養機關として小規模の圖書館を設置したるも何分にも居留民目下の狀態は差當り肉體の營養是れ急にして未だ精神的營養を渴望する程の余裕に乏しき爲めか折角設置せる圖書館に讀書者の少なきは亦已むを得ざる次第なり又語學校は總領事館員始め其他有志者の發起にて去五月開校の際は百餘名の生徒なりしも是れ亦中途にして英語科を廢止したる[illegible]漸次退學者ありて昨今[illegible]數名に減じたるは遺憾なり▲居留民會の賦課金 居留民會の賦課[illegible]は居留民全體共同生活の必要上各自の公義心に訴へ負擔するものにして淸國臨聘者諸氏すら負擔金なる名義にて各々俸給額に應して負擔しつゝあるも何故にや領事館員、郵便局員、滿鐵公所等は其の負擔を免れ居れり然るに滿鐵公所は曩きに後藤前滿鐵總裁より負擔を受くる旨總領事館に通告したるも今回發見したるより今後一ヶ月五十圓宛負擔することゝ爲り且去七月より十二月迄半期間分三百圓納入すべしと聞く猶は領事館員、郵便局員に對しても近日中民會より負擔方交渉する筈なり

●穀物檢査の實行

仁川穀物協會にては愈々本日より土肥福太郎氏を檢査長とし松本消太郎氏を助手として穀物檢査を實施することに決したり

居留民籍台帳調製中の處愈々調製を終へたるも或は登錄洩れあるやも知れざれば九日より吏員を派し各戸に就き引合せをなす由なるが居留民は左の箇項を了知し成るべく便宜を與へられたしと

一、本籍地 一、現住地 一、職業 一、族稱 一、氏名 一、生年月日 一、入京年月日

尚家族同居者に於ても同樣取調ぶべしと

●藥師川憲兵少佐東上

來月十四日より東京憲兵司令部に於て全國憲兵副官會議開催さるゝに付駐韓憲兵隊よりは藥師川少佐列席せらるゝこととなり十日午前八時五十分南大門發東上せられたり

●暴徒討伐彙報

全羅南道洪原分遣隊上等兵以下八名は十一月十六日洪原の西北約三里の地に於て三十五の賊を討ち其一を殪し一を捕へ銃二火藥若干を鹵獲す△全羅南道谷城分遣所憲兵以下六名巡査四と共に十一月二十四日谷城の西南約四里の地にて賊約四十を討ち其二を捕へ銃十を鹵獲す

●憲兵隊の移轉完了

憲兵隊本部は既報の通り分遣所も同じく移轉を完了し夫々事務を執り居れり

●江陽丸再び來らん

軍需品輸送が船便にてなされたる當時宇品仁川間の航路を航行せる陸軍御用船江陽丸は解約せられたる其後橫濱方面に於いて臨時航海をなし居たるが目下韓國西岸は出穀期に入り輸出頻繁を極め來りたるを以て船主日本商船會社は今後韓國航路に充つることゝし近く仁川に向け門司を出帆せしむる筈なりと云ふ

●水野部長出發

江華島暴徒討伐の爲め一昨夜仁川警察署にては水野警部長をして日本巡査○名韓巡査○名を同島に派遣したり

●埋築組合總會

昨夜仁川歸樓に於いて埋築組合員全部會合し埋築に關する諸種の打合せをなしたり

●澁谷事務官の歸任

地方出張中なりし澁谷學部事務官は春川、原州、驪州、忠州、淸州、安城の各地の視察を終へ一昨夜歸任せり

●臨時航船の增加

大阪商船會社の韓國西岸航路には更に本月より二隻の臨時船を增派する計畫なりしこと既記したる所なるが愈々去る七日門司より雜貨三百五十噸を積みて仁川に向ひたる太信丸及近々大阪出帆の大智丸の二隻は大阪仁川間の臨時船として航行する筈なりと

●警備電話開通

慶尙南道晉州三千浦間の警備電話線は十二月六日より通話を開始せり

●香雜丸の入港

佐賀縣の命令航路船香雜丸は一昨日仁川に入港したるが一昨日同港を出帆し門司及び唐津に向ひたり

公人私人

▲時尾善三郎(統監府營林廠長) 八日着[illegible]

▲[illegible]

●近事片々

▲一進會の死物狂ひは噴飯以上の價ひあり藥等の番議は早晩亦大咆哮となるべき乎

▲鳥の將に死なんとするや鳴く聲悲しと一進會たるもの咆哮は甚見苦し愼めよや喝

▲政府も亦藥等を何時迄苦めんより早く解散を命じ彼徒を生産の業に就かしめよ

▲大韓協會亦然り彼徒の政權狂を矯めるに先づ朋黨結社を解散すべし是其先驅也

▲政府は宜しく彼徒をして不生產なる政權運動を爲さしめざるの取締を爲すが肝要

▲一進會の如き或時期に於ては多少日本の爲に盡援せし事あらん左れど難有迷惑也

▲保護政治の下には何等の黨派を要せず

▲此際政府は斷乎として總ての朋黨結社を解散するを可とす是も亦一の仁政ならん

▲試に地方淳朴の民に聞け然らば一進會及總ての黨徒に對する意向は判明すべき也

▲協商を多くする事が外交の成功とせば霞ヶ關の外交は大々的成功其實は抑も如何

▲日露協商、佛協商日米協商に次で今や亦日獨協商をなしつゝありとの說事實にや

▲協商は之が運用によりて活くる也只管條文を守りて叩頭すれば是只一の空文のみ

▲若し夫れ獨逸との協商を事實なりとせば何物を協商するものか常識に判斷し難し

▲協商發明等の如き形式外交の時代は將に去らんとす機會均等を巧に用ゆる時代

▲米國には隨分突飛漢もあり日米協約の無効運動に熱心遊說する者ありとは面黑し

▲墺の如く柔和なる日本を恐れ頻りに排日行動を繼續する沒分漢もあり氣毒至極也

▲露國の巴爾幹に對する政策を一變したりとは或は異ならむ是れ露國前途の利益也

▲墺國の合併を承認して此一の協商をなさば露が巴爾幹半島に手足大に伸張せん乎

▲右手に英佛と結び左手に獨墺と握れば ダーダネルス問題も案外に容易なるべき乎

實話 地獄谷（四）　かへで

「本統に質性のよい、温順しい旦那だ、私の如な小使風情に向つても、由藏君だなんて、オ、勿躰ない事だ」
由藏は、掃く手を休め、和田の後姿を眺め[illegible]
和田は椅子に着くと直ぐと、ポッケットから愛讀の國民新聞を出した、そして別にそれを披げて讀むのでもなく、折つたなりに机の上に置いたまゝ[illegible]
[illegible]三方の窓々から、[illegible]が這入つて來る、東の入口の土間に、朝日が、眩しいほど硝子を通して射込んで居る前の大通りは、人車も通れば擔車も通る、又朝市歸りの男も女も忙しそうにズン／＼行く、軈て一切往來が途絶わたかと思ふと又ガヤ／＼と一團の男女が通る、大根の尻尾や、菜の葉の出かゝつた風呂敷包を下げた女や、何やら大きな菰包を擔ぎに負はして、その後から股も露に尻端折の男が、跟いて行く、斯んな光景は、毎朝見飽れて居るので、和田の眼には、敢て珍らしくもないのだが、今朝は、なんだか異樣に感じられるのである、開して雜踏した朝市場、講臭い地獄谷、油つ氣のない色の黒い醜婦など、夫からそれと連想されるのである。

「ア、囚はれたる女」最初から、賣淫婦たる境遇を希望した譯じやなからう、東のあなた邸國には、父もあり母もあるであらう、兄姉や弟妹もあるであらうに、朝鮮下りまで來て、賣淫婦……何んと云ふ情ない境遇だらう、と、和田は、自分の妹の事のやうに悲しく思つた、彼れでも一度は主義を唱へ、理想に憧れた時代もあつたらう、今、囚はれの身でありながらも尚は戀人に想を馳せて居るのではあるまいか、囚屋の如な此の社會を恨んで居るのではあるまいか、地獄谷を放れたいと思つて居はしまいか、夫とも女氏無うして玉の輿的射倖心に驅られ、自ら進んで地獄谷に入り込んだのではあるまいかぞして雨鵬に燃をかけて、其機會を得やうと思つて居るのではあるまいか、夫にしては余りに醜婦である、あゝ憐な醜婦の運命、實に悲慘な醜婦の身の上である、併かし斯る運命に、囚はれの生涯に泣いてるもの天下果して幾人あるであらうと和田は思つた。

●毒婦たきくの素性
……不貞不倫の數々を重ね……
……諸所を喰ひ詰む……

由[illegible]も深き父の慈愛[illegible]も思はぬ如きくは親に對して不孝の數々を[illegible]卑しき事共を[illegible]の取れぬ十四の少女ながら早くも綻びし春心の戀では情夫の二三人も拵へ父の手前も憚らず内を外なる淫奔沙汰に父は痛く胸を苦しめ絶わず意見を加へしかどきくは更に改悛する模樣なく却つて身の淫奔は以前に比して優るとも劣ることなく父の折角の意見も空吹く風絡には情夫をば自宅に引き込みて巫山戲散らす自墮落父も如何程兒に甘いとはいへソノやうな淫奔事を何時迄も見逃す譯には行かねば此れも懲しめの爲めと或る時娘をば叱責し結局勘當したるがたきくは却て此の勘當を受けしを可いことゝし早速家をば立ち出で廣島地方に飛び出し其の後數年間といふものは同地の料理屋飲食店又は下等下宿の酌婦又は下女[illegible]諸所を輾轉り居りしが[illegible]出[illegible]の娘盛りとなりしとき同地の製氷會社に出勤する村上鐵次郎といふ男と割なき關係を結び果ては夫婦の縁を契りて同市千田町に世帶を持ち當坐は好いた同志の仲睦まじく戀に焦れし互の思は風呂に行くにも必ず二人連れ立ち餘所の見る眼も羨ましき程なりしが根が浮氣者のたきくは月日の經つにつれて夫に厭きが差しいつしか夫の眼を忍びては他の情夫と複重をなし居りし事が誰れ言ふとなく夫の耳に入りしよりたきくは斯うなつたら百年目と[illegible]に對して怖ろしき奸計を試みたり（つゞく）

●金時計大盗
……井東某とは誰れ……
伊藤公は御存知無し……

木枯し寒く南山の麓を吹き下し、寒氣[illegible]彌目の形象輸た荒寞たる師走の冬景色人は何れも歳暮の殘臘に通行く足並みさへさも忙がしさうなる今日此頃爰南山町は櫻宇[illegible]然たる或る御用旅館の一室に先般來より宿泊し居る一人の紳士あり、美衣溫袍八珍の佳肴は既に口に飽き、豪侈遊逸阿嬌の顧眄は早や情にものうく日々ストーブの暖氣身に適ひ床の間の香蘭香ばしき裡見事なる虎皮に跪坐しては首を捻つて何事をか計畫しつゝ時には薄暮權門勢家を叩ひては叩頭追從至らざるなきさまの何れはさる仔細のあるならんとダン／＼手を入れ探り見し所終に彼は紛れもなく金箔附きの○○屋なることを殫ひるに至れり而して其の計畫といふは他にあらず彼れは過般より彼の韓國唯一の大森林の（價格二百余万圓）拂ひ下げを爲さんと企て當時其の筋に向つて激烈なる運動を試み賄賂苞苴あらゆる手段を施して目的を達せんと欲せしも天運彼に幸ひせざりしかナカ／＼に其の筋にて許可の命を與へ呉れざる模樣を早くも見て取りし彼れは未だに其の筋への運動手段となし同時に斷うと考へるや彼は直ちに東京天賞堂より金時計を一箱取り寄せ之れならば必ず目的を達するに相違なしと彼の金時計をば一々美麗なる小箱に容れ[illegible]人影稀なるの比二重マントの襟も高く帽子眞深に冠りて其の筋の役人共の居宅を訪問し「何分ともによろしく」と許りに叩頭百拜ついで右の金時計を贈與せし由なるが何れは追つて何分の沙汰あるべしきにても素性も知れぬ資力もなき○○屋が金時計一箱位にて如斯森林拂ひ下げの目的を達せらるゝとせば世間の人々は爭つて將來此の金時計主義を取るなるべし、サテも豪傑なるは井東某の心根にて英雄伊藤公も之を知らば[illegible]

●店員評判記

城商店員　中山眞民氏

氏は年の割には若勞人である、從つて思慮に富み、考察に深く、事物に當つて周匝可嚀である、家は代々農家、生れは熊本縣玉名郡横島村、夙に土地の中學に業を修め、在學四年にして退學し、父と共に朝鮮に渡航し、京城に於て典當業を開ひたのである、其の後幾干もなくして業務を閉止し、昨年城商店の店員となつたのである、主人の信用極めて厚く年期が濟んだら暖簾を分けて貰ふやうになつて居るさうだ、[illegible]落氣がない、尤も性分にも依るだらうが、併し氏の人物から察すると「外國迄も來て一旗揚げやうともするものが洒落氣なざを出して居るものか」と思つて居るだら[illegible]

小川辯護士法律事務所員　林久吉氏

法律事務所とへはいふ迄もなく商店にはあらざるも代言業者として爰に掲載するのである、氏は郷里熊本に於て中學を五年級迄修めたが家事の都合から卒業間際に至りて退學するや土地の小學校に教員として奉職し、爾來精勵格勤、能く其の任を完ふして尊敬されたのである、昨年思ふ所ありて渡韓し、小川法律事務所員になつたが其の事に當つて熱心なると主人に仕へて異餘なるとは忽ちにして小川氏の信任する所となり、現今にては同事務所の主任として權要なる任務を掌つて居る、人となり質訥にして多くを言はず、陰々として老成の風がある、而も年齒未だ不惑に達しない、

同事務員　後藤重雄氏

氏は小學校卒業後土地の義塾に入り通學數ヶ年、其の後一家の事情から熊本の郵便局に奉職し、敏手練腕の聲風に當時の上官を驚嘆せしめた、小川法律事務所員となつたのが本年六月、爾來營々剌々として職務に從事して居る、性質は快活にして才氣眉宇の間に現はれて居る、

●時計泥棒捕はる

壽町三丁目香川縣平民盛田福次（二十）といふは前科者にて其筋より常に注意され居る代者なるが福次は何ら才覺を付けてか去月初旬前記の處へ店を張り時計指環の類を販賣し始めたるが南部署にては早くも目をつけ福次の一擧一動に深く注視する處ありたりしに將して附けし目星違はず福次の罪惡を確むるに至れり而して之が罪惡の顛末こいふは福次は同縣人なる倉本保次（二十）と共謀の上保次を本町四丁目樋居時計店に番頭として住み込ませ同店員の隙を狙つては保次をして金時計金指環其他各種の物品を盗み出さしめ其品は悉く自分の店に飾り又は賣飛し其金をば二人にて等分し到處で散財をなし居りしが此程保次が福次に向ひ「此れを花月の藝者に貢りつけて來る」と言つて[illegible]掴ひ金を騙取し例の通り福次と甘い汁を吸つて居りしが天眼いつしか其罪を看破し一昨日南部署詰長野刑事の爲めに兩人とも捕縛されたり

放多良歌誌（四）　釜梳坊

●狂歌（六日近事片々參照）

▲毎度云ふ事だが一進會も大韓協會も皆解散せしむるを宜しとす存置の必要なし矣

一進や大韓などの厄介は何の役にも立たぬ足腰

▲淸國地方官憲の暴戾は毎度の事ながら始末にをへぬ何とか改心さするの道なき乎

「外國の人が害をば蝙蝠の爲無き鄕の威張る官憲」

●娼妓の鞍替へ　第一樓の勝次は金曜と名乗り月下樓の稲枝は木曜と名乗り一昨日龍山日曜樓より現はれたり

●警察は我家　長崎縣島原町平民吉田昇次といふは去月拾八日當京城へ入込みたるものなるが一定の住所と職業とを定めざるより一昨日南部署へ引致され取調の上浮浪罪として拘留十日に處せられたるが聞く所によれば此者は警察や監獄の飯で成長したいとの希望の由

●南部の出火　一昨夜南部長洞申錫桂方より出火し將に大事に至らんとする所を近所のもの寄つて集つて消し止めたり原因は定まりのオンドルの焚火よりなりと

●本町座今晩の語り物　歳暮の多忙なるにも不拘同座、前夜の大入りにて知なの人氣なり今晩の語り物は
○石井常右衛門の傳「前夜の續き」（扶桑軒燕蔵）
○[illegible]右衛門の傳「前夜の續き」（監甲齋數若）
○宮本武勇傳「前夜の續き」（淸國人錦文金）
○新十錦の傳 内揚部安兵衛武庸の傳「婦人より御面仕合迄に東下り」（扶桑軒愛瑚）

[illegible]御用 無煙煉炭

●用途 火付善く火力強く久く價格低廉 湯鑵、暖爐、竈用に適す

●開城德山海軍省煉炭所東隣 谷口無煙煉炭工場

京城特約店 京城南大門通 電話六〇三番 巴商會

韓國一手販賣 京城本町二丁目

歲暮大賣出し

美術半衿帶上

男女羽織紐、帶締

御題模樣御衿地

同御吊沙地

肩掛 首卷

各 新 荷 揃

明治町聯合景品附大賣出しに加入せしは勿論なれども弊店は華客各位平素の御愛顧に報いん爲め特に副景品として一等より[illegible]

本月三日弊店に於て發行仕候間當日景品券御持參御來店被下度候敬白

壹等 精白米 十俵
二等 清酒 一樽
三等 ビール 一箱

明治町一丁目

佐々木里德

白鶴

登錄商標 本改 攝嵌上

特約店（いろは製）

本町六 田中支店 電話七六四番

本町四 前田酒店 電話一三七番

本町五 酒井政平 電話六四番

インペリアル GDS

土耳古煙草直輸入卸小賣

本品ハ特ニ原料ヲ精選シテ製シ特色ノ風味香氣ヲ有シ最モ高尙ナル飲料ニシテ來客用ニ適セリ

ジーデーシェリス會社

出張所 明治町壹丁目 エムジーシェリス

●繪葉書營業者に謹告●

年賀用繪葉書

韓國風景風俗繪葉書

各種荷着 各種取揃

金壹圓迄御送附被下候へば見本取揃發送可仕候

京城本町四丁目

日出商行

●繪葉書行商人數名募集望の御方至急御來談被下度候

景品附聯合大賣出し

年稍既に迫り年内餘日無き折柄我明治町一圓して相聯合し景品附歲暮大賣出し開催仕り薄利、多賣の主義を以て御便利を圖り將來の御引立を仰ぎ度候間多少に不拘續々御來購の程偏に奉希上候期間及景品進呈の方法等並に加盟商店を列記し茲に依而左に賣出し期間品類並に廣告仕候也

一 大賣出期間は十二月五日より同月三十一日迄とす

二 聯合加盟店は商品代金五拾錢毎に三回毎に御買上は景品券一枚宛を呈すべし但貸賣は此限りに非ず

三 景品券は[illegible]

四 事務所に於ては毎日午前九時より午後十時迄景品引替を爲すべし但三十一日は徹夜相渡可申候

五 景品は壹等精白米五斗入貳十俵を初めとし銅蒲團、舶來プリストルエキャスト、置時計、西洋トランク、清酒、インバチス、貳枚續舶來毛布、寶石入[illegible]、金側時計、[illegible]、鐵瓶、石油[illegible]

六 景品券には壹本も空籤なし

七 景品進呈上に公平を證する爲左の有力家に監督を請へり

城六太君 林田金次郎君 田中始一郎君 大東齋生八君 羽多野彌一郎君 羽多野彥三郎君 薗田謙一君 沈宜碩君 森村大郎君

明治四十一年十二月

明治町聯合大賣出事務所

山本雜貨店 櫻井時計店 友谷金物店 岡田小間物店 江里口紙店 河上履物店 初田紙店 桑原太物店（足袋） 原洋服店 大坂屋（洋服雜貨）店 小林民雜貨店 伊藤履物店 柴田菓子店 有田雜貨店 唐川綿反物店 三桝屋 瀧川銃砲店 羽田藥房 宮崎（支店）印刷所 橋口雜貨店 中村商店 勝木洋傘店 近藤雜貨店 片桐家具店 鈴木洋服店 杉田薪炭商 廉敬模米店 八木菓子店

藤山明治堂（支店） 田中靴店 高木二樂堂 [illegible]商會支店 尾川玩具店 石川ターニー商店 大島提燈店 安達ブリキ店 石田菓子店 高岡洋服店 高賀馬具店 古雄醬油店 寺田陶器店 安部古物店 山邊雜貨店 西山酒醬油店 竹上洋服店 富士材木店 北村靴店 清水食料（雜貨）店 今井食料（雜貨）店 河野商店 佐々部洋服店 仙野光進舍 野村雜貨店 石田醫療（機械）店 李德有米店 金武飲食店

山本菓子店 ゑり德 金化堂時計舖 吉川金光堂 井上（洋服）雜貨店 田中藥店 寺田菓子店 幸野提燈店 （シェリス）貰商會 （舶來雜貨）小林支店 石田精肉店 川崎提燈店 松本雜貨店 田中時計店 藤川雜貨店 （消火器）中央商會 岡本天眞堂 中川商店 沖野商店 米川商店 （商商）平田支店 深作餅店 中尾軍刀店 小川藥店 江原商店 尹貞奭材木店 名古屋飲食店 岩尾古物店

●此際非常なる大勉强

東京 出來 洋服類各種

特に御婦人コートインバニースは

弊店の特色とする處にて裁縫の親切なること御誂と些の異りなく廉價にて至極經濟且つ東都に於ける最新流行形珍柄類數百種取揃在之り候是非御用命の程を乞ふ

京城本町三丁目

田中洋服店

新築落成に付左の所へ移轉す

移轉廣告

大和町軍司令部通

小川病院

內科 小兒科 產科 眼科 及婦人科 外科 花柳病科

院長 小川末五郎
副院長 松岡繁太郎

今回尤も老練なる松岡繁太郎氏を聘し左之通り分膽治療に從事仕候

歲暮大賣出し

昨年弊店が紀念賣出しを擧行するに當り景品價格を未だ嘗て韓國に比類なき多額を贈呈して抽籤の際には本町座を以て是に當て各新聞社民長有志諸君の立會を御辱ふし最も公平なる方法を以て抽籤を了へ尙は餘興を開始仕候處又意外なる好評を博し弊店は最も名譽ある大方各位の同情を得て無事抽籤を終了せし事は大方各位の已に記憶に存せらるる處ならん然るに本年は店主久敷病床に呻吟し暫く鎭靜にありし弊店も本月より從來に倍する店務を擴張し愈に店員を內地に遣し神戸大坂京都横濱東京等の仕入をなさしめ近日新荷着品仕他店に類なき品最も多く殊に紳士淑女諸君の歲暮品さして賀に珍品少なからず御通行の節は是非御立寄り御一覽の榮を得度此段願上候 敬白

景品目錄

壹等 待井精米所精白米 十俵
二等 十八金婦人懷中時計 一個
三等 モヘル馬車掛 一枚
四等 美術刺繡屏風 一枚
五等 十八金眞珠入大ピン 一本
六等 純銀製彫刻卷莨入 一個
七等 美術テーブル 一脚
八等 清酒 一樽
九等 金十圓辻屋商品券 一枚
十等 金十圓山口服吳券 一枚

以下壹本も空籤なし

○賣出期間は十二月六日より同月三十一日まで
○福引券は金二圓毎に一枚進呈致候
○抽籤は一月十日擧行致候

歐米雜貨 美術品商

京城本町一丁目

四ヶ所洋物店

電話參貳一番

東亞特許第六四四二

昨冬發賣以來大好評を博したる

防寒用衛生股引

本品は[illegible]ある故本品を着用せば如何なる寒氣でも冷込まず一度是れを着用して椅子に腰掛けるとき溫氣に感ずる[illegible]、[illegible]敷に付軍人官吏會社員男女學生看護婦等には尤も適當品にして殊に子宮姙娠婦には特効有之御婦人用は着用じて[illegible]

[illegible]

京城本町裏通二丁目

（濟國領事館正門通）

三町商店

神田組

[illegible]

吉 茶 開春園

京城旭町三丁目

▲下宿開業▼

客室の淸潔と調理の美味さ御扱の懇切を特色として[illegible]御願申上候

[illegible]町一丁目十番地 横小路（元花屋跡）

かめ屋

▲下宿開業▼

易學觀相及教授

舊韓國黃文館 三三館

近は來館遠は郵便にて

日本郵船會社 代理店

漁船出帆廣告

仁川海岸通

貨物及船客取扱店

郡回漕會 電話三九番

京城南大門通

巴商店 電話三〇六番

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 十二月二十日後三時出
●大連行 高砂丸 十二月 日後一時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 十二月 日前五時
●大連行 酒田丸 十二月廿二日後一時出
●釜山出帆、浦鹽行 立神丸 十二月

御注意 御乘船ノ際ハ波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送迎可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ス

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金四十錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲一ヶ年[illegible]
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲特別[illegible]

發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城新聞社 京城西署西小門通